

令和6年度 事業計画書

自 令和6年4月1日
至 令和7年3月31日

社会福祉法人 エージングライフ福祉会
クレーネ堺

令和6年 エージングライフ福祉会

介護・看護目標

1. 高齢者の人権を尊重し共感的態度で接し接遇の基本を守る
2. 高齢者が安全・安心が得られるよう支援する
3. やりがいのある介護・看護を
実践する

R6年度 特養介護目標

1. 高齢者の人権を尊重し、共感的態度で接し、接遇の基本を守り対応する。

- ①認知症等で判断の難しい方に対しても、介護をしてあげるといった態度をとらない。
また、以下の虐待行為を行わない。
＜身体虐待＞＜言葉・心理的虐待＞＜性的虐待＞＜介護放棄＞＜経済的虐待＞
- ②高齢者介護のプロフェッショナルとして、ひとりひとりの思い、心配、嬉しい等を受け止めて共感し、心身の状態や希望に沿った支援を行う。
- ③生活全体に目を向け、その人にとっての最善の方法を考えるケアカンファレンスを開催しケアプランに繋げていく。その為には、しっかりと情報収集し、利用者理解に努める。
- ④法令等を常に確認し、そのルールに基づいたサービス提供を行う。
- ⑤利用者に対しても、家族に対しても、いつも同じく丁寧な対応、丁寧な話し方に努め話をよく聞くことに努める。また、人が見ている時も、見ていない時も、いつも変わらぬ対応を行う。

2. 高齢者が安全、安心が得られるよう支援する。

- ①安全を確保し、環境整備や感染予防などの管理をしっかりと行う。
- ②ケア提供に伴う介護事故発生ゼロを目指し、介護技術の向上に努める。
- ③利用者の生活に伴う介護事故は被害の最小化を目指し、環境整備、事故予防対策に取り組む。

3. 限りある資源を大切にマネジメントする。

- ①施設の部品や物品を大事にする。施設の共有部分は各自大切にし、整理整頓する。
- ②電気や水道に対するコスト意識をもつ。

令和6年度 基本理念に基づく看護目標

医務

1・高齢者の人権を尊重し共感的態度で接し、接遇の基本を守る

- 1)ご利用者様の気持ち・ご家族様の気持ちを考慮し、疾患・問題行動に取り組む
- 2) 利用者に寄り添い話を傾聴し、常に笑顔で接する
- 3) 疾患や問題言動に対応する前に本人の気持ち家族の気持ちを考えて対応する。

2・高齢者の自立支援・尊厳の保持・残存機能の維持に努める

- 1) 看護師間で根拠を確認し、共通認識のもと介護職に伝える。
- 2) 施設看護師の役割として生活総合的に判断して支援。
(予防的視点・治療に対する支援・異常の早期発見・個別性をみる)
日々多種多様な視点を収集できるように努める。
- 3) 利用者・家族・介護職に安全・安心をもってもらえるような看護に努める。

3・やりがいのある看護の実践

- 1) ヒューマンケアの基本的な能力
- 2) 根拠に基づき、看護を計画的実践する能力
- 3) 健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復にかかわる実践能力
- 4) ケア環境とチーム体制を理解し、活用する能力
- 5) 専門職者として研鑽し続ける基本的能力を設定

令和6年度 基本理念に基づいた介護目標

グループホーム クレーネ堺

1. 高齢者の人権を尊重し共感的態度で接し、接遇の基本を守り対応する。

○個別性を重視し、利用者の人生歴・背景にも目を向け、意思および人格を尊重し
たうえで、適切な介護過程が展開できる。

○認知症ケアの基本として、何事に対しても説明・同意を遵守する。

2. 高齢者が安全、安心を得られるよう支援する。

○各委員会で取り決めた目標に沿い、各委員が中心となり利用者の安心・安全を守
る。

○感染症対策継続中の為、家族様からの疑問や意向などには誠実に対応する。

3. やりがいのある介護を実践する。

○法人内研修・外部研修の参加により自己研鑽を怠らず、新人職員への指導と全職
員の知識・技能の向上を目指し、現場での実践に繋げる。

○利用者の楽しみごとの支援のため、個別・集団レクリエーションを毎月開催する。

令和6年度 介護理念における介護目標

グループホームフローラ

1. 高齢者の人権を尊重し共感的態度で接し、接遇の基本を守る。

- 利用者個々の認知症状を理解し、自尊心を傷つけない。また、利用者の不安に共感し、寄り添い傾聴する事で信頼関係及び馴染みの関係を築く。
- 利用者を敬う気持ちを持ち、ひとつひとつの動作を急かさず、自立支援を意識した利用者主体のケアを行う。

2. 高齢者が安全・安心が得られるよう支援する。

- 利用者の言葉に耳を傾け寄り添う。また、笑顔で接し利用者が穏やかに過ごすことができるよう、心地よい言葉かけを行う。
- 利用者の個々の状態変化や危険を察知できる力を養い、転倒予防に努め対応・対処ができるよう、判断力を身につける。

3. やりがいのある介護を実践する。

- 認知症であると決めつけず、利用者の認知症状についての理解を深める事で、出来る事、出来ない事を見極める力を養う。
- 職員間でのコミュニケーションを図り、会議や申し送りで情報共有し、働きやすい職場づくりに努める。

令和6年度 基本理念に基づいた介護目標

デイサービスセンター クレーネ堺

1. 高齢者の人権を尊重し共感的態度で接し、接遇の基本を守り対応する

- 利用者、家族の意向を汲み取り、適切な支援を行う。
- 傾聴を心掛けどんな時も笑顔で対応、接遇マナーの向上を図る。
- 積極的にコミュニケーションを図り、利用者を理解する。

2. 高齢者が安全、安心を得られるよう支援する

- 利用者、家族、各部署間で情報を共有し、利用者の状態に応じて適切な介助方法や、安心して過ごせる環境を作り事故発生を未然に防ぐ。
- 安全確認を怠る事なく、職員同士で声を掛け合い事故防止に努める。
- 感染症予防対策を徹底する。

3. やりがいのある介護、看護を実践する

- 利用者のできる事を見出し、利用者のペースで自立支援を促す。
- 利用者それぞれが生き生きと過ごして頂けるよう、個別のニーズに合わせた支援、介護を提供する。

令和6年 基本理念に基づく介護目標

デサービスセンターセフィーロ

1.高齢者の人権を尊重し共感的態度で接し、接遇の基本を守る

- ・利用者の立場を尊重し、利用者の声に耳を傾ける事が出来る。

また丁寧な言葉使い、声掛けが出来るよう努める。

- ・介助を行う際、利用者に声掛け行い返事を待つ事が出来る職員になる。

2.高齢者が安全・安心が得られるよう支援する

- ・フロア内の環境整備を行い、利用者が安全に過ごせる空間を提供する。また感染流行期だけではなく感染予防を行い、感染症の蔓延に繋がらないよう対応する。

- ・ひやりはっとの予防、事故の原因等対策を検討し、事故に繋がらない様予測を行い事故防止に努め業務にあたる。

3.やりがいのある介護・看護を実践する

- ・季節に応じたレクリエーションを取り入れる。また地域の方との交流を図られる場を作り、交流を行う。
- ・利用者に応じた個別対応を行い、利用者の方により良いサービスの提供を行う。

令和6年度 基本理念に基づく介護目標

ヘルパーステーション クレーネ堺

1. 高齢者の人権を尊重し共感的態度で接し、接遇の基本を守る。

○利用者からの信頼と安心を得られるヘルパー活動を目指し、在宅で利用されている利用者の意思を尊重しながら、快適かつゆとりある日常生活が継続できるように支援する。

○各ヘルパーの資質向上の為、それぞれの希望に沿った研修計画を立案し、月ごとにその課題達成に向けた取り組みについて、実施内容、評価、反省を個別に実施し提出する。年度末に1年を振り返り自己評価を行う。

○サービス提供責任者が積極的に研修やヘルパー連絡会に参加し、そこで学び得た情報について各ヘルパーにフィードバックし、全体的な資質向上を図る。

2. 高齢者が安全・安心が得られるように支援する。

○利用者個々の生活状況・生活習慣・家庭環境を把握し、必要な対応を行う。

○利用者宅をローテーションで訪問する事により利用者の生活の様子や困りごとを多角的に捉え、個別性に対応したサービス提供を行う。

○9月に、訪問介護自主点検表を用い、運営が適切に行われているかチェックし、評価を行う。

3. やりがいのある介護を実践する

○新規依頼や介護保険更新に伴う、サービス担当者会議があった際は、担当ヘルパーと一緒に担当者会議、契約に参加しヘルパー利用に至る経緯やご本人への支援内容について充分理解し、サービス提供にあたる。

○個別性に応じた介護の展開を図る。

令和6年度基本理念に基づく介護目標

ケアプランセンター クレーネ堺

1、 高齢者の人権を尊重し共感的態度で接し、接遇の基本を守る。

☆ ご利用者の人権を尊重し個別的対応で支援する。

☆ ご利用者ご家族の立場になって話を傾聴する。

2、 高齢者が安全・安心が得られるよう支援する。

☆ ご利用者の生活環境を理解し継続的な支援ができる。

☆ 各関係機関と連携を図りご利用者の状態把握に努める。

3、 やりがいのある介護を実践する。

☆ ご利用者の望む生活に寄り添い、住み慣れた自宅、地域での生活が継続できるよう支援していく。

☆ 積極的に研修へ参加し自己研鑽に努める。

令和6年度 基本理念に基づく介護目標

住宅型有料老人ホーム メゾン・ド・ニアン

エージングライフ福祉会 クレーネ堺 介護目標

- 1 高齢者の人権を尊重し、共感的態度で接し、接遇の基本を守り対応する。
- 2 高齢者が安全・安心が得られるよう支援する。
- 3 やりがいのある介護を実践する。

メゾン・ド・ニアン 介護目標

<基本方針>

住宅型有料老人ホーム メゾン・ド・ニアンでは「生活の場である」という観点から、利用者が明るく家庭的な雰囲気でも過ごせる事、又、やすらぎのある生活を送る中で必要なケアを受けることができるように体制を整えます。

入居者の思いや、願いを理解し、日々の支援を行います。

「生活の場」を重視した環境整備を行っていきます。

今年度は「心が満たされる介護」を目標として、入居者の思いに沿った介護を行います。

<取り組み>

① よりこまやかなサービスが提供できる体制を整えます。

日々の関わりの中からご本人の真のニーズをくみ取り介護サービスへと繋げていきます。入居者に状態変化があった際は、責任者が中心となって、各専門職との連携を図っていき、より入居者の状態にあったサービスが提供できる体制を整えていきます。サービス担当者会議にいても積極的に行っていき、ご家族にも参加頂きます。

② 「その方に焦点あてたケア」を目指します。

認知症の周辺症状・BPSD といったことに対して、問題と捉えず、ご本人の思いを大切に、生活歴や環境、その他の要因等、入居者の特性をあらゆる角度から観察・把握することにより、よりよい状態を提供できるように努めます。

③ 身体拘束、行動の抑制は行いません。

緊急やむえない場合を省き身体拘束は行いません。行動の抑制についてもご本人の意思を尊重し行いません。多動の方については付き添いを行い心の安定を図ります。「座っていて下さい」と行動の抑制を目的にした言葉がけは禁止します。自由に行動して頂くことによって、転倒事故の増加が予想されますが、入居者の行動の特性を把

握し転倒要因を軽減していく事で、可能な限り転倒事故は防止して
いきます。

- ④ 食事の提供についてご本人の栄養状態に留意し、提供内容の見直し
を行うと共に、食思の向上や安定を図る為に工夫致します。

食事の介助、配膳等の際は、五感を刺激する事、会話を楽しんで頂
く事に留意します。行事食の際や誕生日食の際に一言添えるように
し、季節感を感じて頂くように致します「心温まる食事」を目指し、
環境等のしつらえを行っていきます。

毎日の食事摂取状況や採決結果等を参照し、栄養状況のアセスメン
トを行い、必要な際はご本人の好まれる食事にし、捕食を多く取り
入れるように致します。又、栄養士と相談し栄養補助食品について
検討を行い、提案を行います。

- ⑤ ご家族との信頼関係の構築を図ります。より開かれた施設であるよ
うにアクシデントがあった際も、積極的にご家族に連絡します。

面会に来られた際は、近況について責任者より説明を行います。入
居者に転倒や発熱があった際は直ちにご家族に連絡し状態をご報
告します。又、経過について随時連絡を行います。

⑥ 「心が満たされる介護」を目標に入居者にぬくもりと温かみを感じ

ていただけるサービスを実施していきます。

身体介助、環境整備、生活援助等、どの場面においても「業務」捉えるのではなく、1対1の関りを大切にし、心のこもった支援を感じて頂けるように努めます。

⑦ 管理者、責任者を中心にチームケア力の強化を図ります。

・定期的に責任者同士のミーティングを行い、情報の共有を図っていきます。

・事故や感染が発生した際は、自らが主体となって問題の解決へ取り組んでいきます。又、必要に応じて他部署との連携を図ります。・
介護職、宿直者への指導、助言、相談を随時行い、各職員の能力、モチベーションの向上を図ります。

・各職員に対して、計画的な指導を行っていきます。

・職員の働きやすい職場環境の構築に努めていきます。

・可能な限り、職員とのコミュニケーションの場を設け、職員の思いや、願いをケアに反映していきます。

令和6年度 事業計画書

自 令和6年4月1日
至 令和7年3月31日

社会福祉法人 エージングライフ福祉会
クレーネ大阪

令和6年度 特別養護老人ホーム クレーネ大阪
事業計画

1. 重点事業計画 利用定員 110名（特養入所 100名、短期入所 10名、通所介護 25名）

- 1) 特養入所通所介護稼働率を令和5年度 91.2%（入院を除く）から令和6年度 95.0%（入院を除く）を目指す。
- 2) 短期入所稼働率を令和5年度 86.9%から令和6年度 90.0%を目指す。
- 3) 通所介護稼働率を令和5年度 65.0%から令和6年度 72.0%を目指す。
*令和5年6月から通所介護定員を20名から25名に増加

2. 事業運営基本方針

可能な限り居宅における生活への復帰を念頭において、施設サービス計画に基づいた、食事、入浴、排泄等の介護、個別ケアの確立、相談及び援助、社会生活上の便宜の供与、その他日常生活のお世話、機能訓練、健康管理及び療養上の援助を行うことにより、利用者がその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるように支援することを目的とします。なお、サービスの提供にあたっては、利用者の人間性を尊重し、自立心や夢を損なわないように配慮するとともに、10名のグループを1ユニットとし、個別性の高い支援を提供します。また、複合型の施設特性を活かしたサービス提供を実施するとともに、より地域に開かれた施設運営を行い、加えて社会貢献を実施するものとします。

3. 部門目標（特養・短期・通所介護）

今年度の部門目標としては、住み慣れた地域で家庭と同様の安心できるサービスの提供を目標とし、職員のスキルアップ及びプロとしての意識向上並びに、医療・介護両面のトータルサポートを目指します。

(1)財務の視点

- ①特養入所稼働率 95.0%（入院を除く）、短期入所稼働率 90.0%、通所介護稼働率 72.0%を目指します。

(2)利用者・家族・地域の視点

- ①地域性を活かしたサービスを提供します。
- ②ユニット型特養の特性を活かし、利用者のニーズに柔軟に対応します。
- ③施設利用者の重度化に対応し、利用者が安心できるサービスを提供します。

(3)業務改善の視点

- ①業務の効率化を図ります。